

編集後記

所属する学科で、卒研究生の配属が決まった。現3年生が11月に研究室を見学する。その後、第1から第5まで志望研究室を書いた調書を提出する。こちらとしては、できるならば、健康的で熱意があり、かつ良く考える学生を確保したい。(優秀な学生と言いたいが、何をもって優秀かは難しい。成績が良いから研究ができるかと言えば、必ずしもそうではない。)そのためには、多くの学生に第1志望研究室として我が研究室を書いてもらい、こちらが選択できる権利を得たい。なぜなら、希望者数が定員内であれば、教員の意志とは関係なく自動的に学生の配属が決まってしまうからだ。希望を多く集めるには、まずは研究テーマの魅力と研究室の活力が必要だ。さて、私の研究室は、「磁気閉じ込め核融合プラズマのシミュレーション」をテーマとして掲げているのだが、魅力はどうだろう。当方の学科では、企業と共同研究が活発な回路の研究室、自動車に関連しそうな制御の研究室、医工連携を進める研究室などに人気が集ま

る傾向がある。学生の研究室選びに社会情勢や就職などの影響は大きい。そんな中、「核融合」は厳しい。「プラズマ」も、当方の学科のカリキュラムのせいも、学生の興味を引くことはできていない。そこで、学外では、特に会員諸氏を相手には、恥ずかしくてとても言えそうもない大言壮語を並べ立てて広報活動をする。実験研究と違って、実際に物を扱わない「シミュレーション」は、更に厳しい。こうなれば、研究室の雰囲気とか教員と学生の距離とか、研究とは別のところで勝負するしかない。毎年恒例になってきたが、この時期には3年生へ媚びを売りつつ声をかける“コビ”ニケーション作戦を展開する。学生実験の時間は、少人数の学生を相手に近い距離で指導できるので、ちょうど良い機会である。

他の大学の先生方もいろいろと苦勞されていることと存じます。堂々と勝負できる技をおもちでしたら、是非ご教示ください。(高橋俊樹)

プラズマ・核融合学会役員

会 長	小森 彰夫	副 会 長	永津 雅章 (推薦委員長: 研究助成, 男女共同参画委員長)	吉田 善章 (推薦委員長: 学会賞)
常務理事	室賀 健夫 (総務委員長)			
理 事	浅野 克彦 内野喜一郎 草間 義紀 (広報委員長) 白神 宏之 (支部・地区研究連絡会委員長) 波多野雄治	安藤 晃 小野 靖 久保 博孝 白谷 正治 (研究部会連絡委員長) 福山 淳 (年会運営委員長)	上田 良夫 甲斐 俊也 (財務委員長) 佐々木浩一 (企画委員長) 豊田 浩孝 (編集委員長)	
監 事	市村 真 森田 純子			

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ: 豊田浩孝(名大) 副委員長: 波多野雄治(富山大)

エディタ: 金子俊郎(東北大), 坂本瑞樹(筑波大), 中村祐司(京大), 長友英夫(阪大), 小西哲之(京大) 佐々木浩一(北大)

編集委員: 安堂正己(原子力機構), 石澤明宏(京大), 稲垣 滋(九大), 太田貴之(名城大), 大西直文(東北大), 小田昭紀(千葉工大), 小田卓司(ソウル国立大), 陰山 聡(神戸大), 加道雅孝(原子力機構), 川崎仁晴(佐世保高専), 齋藤和史(宇都宮大), 清水昭博(核融合研), 白石裕之(大同大), 須田善行(豊橋技科大), 高橋俊樹(群馬大), 近田拓未(静岡大), 仲野友英(原子力機構), 沼田龍介(兵庫県立大), 比村治彦(京都工繊大), 松岡彩子(JAXA), 宮澤順一(核融合研), 森 芳孝(光産業創成大学院大), 森本泰臣(日揮), 八木重郎(核融合研), 八柳祐一(静岡大), 山本 聡(京大), 余語覚文(阪大)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第92巻第1号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階

一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: http://www.jspf.or.jp/ 定価1,300円(税別)

印刷 株式会社荒川印刷

2016年(平成28年)1月25日

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。